

広島出身の久松さん 来月世界の壇上へ

英語スピーチ 日本代表

環境保護訴え 国内大会優勝

英語スピーチ能力を誇る国際組織「トーストマスターズ・クラブ」(本部・米カリフォルニア州)広島支部の会社員久松千香さん(28)は、八月にカナダで開かれる同クラブの世界大会に初の日本代表として出場する。約六十カ国から選ばれた代表と話術を競う。

久松さんは地方予選を二十万人の会員がいる。勝ち抜き、中国西部・九州代表として五月、東京での全国大会に出場。各地区代表の七人と、話の内容や進め方などを競って、見事優勝した。

話した題名は「一秒の思慮」。世界では、一秒間にテニスコート二十面分の森林が伐採されるなど、巨大な環境破壊が起きていると問題提起。自分の車に乗る前、公共交通に切り替えられないかなどと一秒間考えて実行すれば誰でも環境保護に取り組める、と訴えた。トーストマスターズ・クラブは約六十カ国に約

二千万人の会員がいる。約千五百人が所属する日本地区は、これまで会員数などの基準を満たさなかったため、世界大会に出場できなかった。参加が認められた今年、久松さんが初代表になった。久松さんは日本代表に選ばれた後、会社の転勤で安佐北区を離れ、岡山市で暮らしている。世界大会で発表する話には被爆証言の通訳ボランティアとして活動した経験を盛り込む予定。「広島出身者として、しっかりと思いを伝えてきたい」と意欲を燃やしている。

初の日本代表に選ばれ、

世界大会に向けて

意欲を燃やす

久松さん

